環境経営レポート２０２４

（対象期間）
2023年10月～2024年9月

日興電設株式会社

高知市薊野中町7番29-3号

2024年12月27日

目次

１．　組織の概要 …… 1

２．　対象範囲（認証・登録範囲）・
レポートの対象期間及び発行日 …… 2

３．　環境経営方針 …… 4

４．　環境管理組織体制 …… 5

５．　環境経営計画への取組の全体概要 …… 6

６．　環境経営目標 …… 7

７．　環境経営計画 …… 8

８．　環境経営目標の実績 …… 9

９．　環境経営計画の取組結果とその評価 …… 14

10.　次年度の取組内容 …… 17
(1)　環境経営目標
(2)　環境経営計画

11.　環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 …… 19

12.　代表者による全体評価と見直し・指示の結果 …… 20

13.　その他の取組 …… 21

発行日：2024年12月27日
発行責任者：環境管理責任者　谷川雄一

次回発行予定：2025年12月　頃

１．組織の概要

【事業者名】

日興電設株式会社

【代表者氏名】

代表取締役　小森一哉

【所在地】

本社	〒781-0013	高知県高知市薊野中町　７番２９－３号
四万十町営業所	〒786-0301	高知県高岡郡四万十町大正　５１２番地１
倉庫	〒781-0013	高知県高知市薊野中町　７番２９－７号

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名		営業部長	谷川雄一
連絡先担当者		総務部	山中勲
連絡先	TEL：088－845－4659		
	FAX：088－846－0172		
	E-mail：main1025@nikko-d.co.jp		
ＵＲＬ	http://www.nikko-d.co.jp		

【事業活動の内容】

建設業(電気工事業･電気通信工事業)、太陽光発電設備工事

建設業許可

許　可　番　号　：　高知県知事許可（特-2）第6332号

許 可 年 月 日 ：　2020年5月6日

建設業の種類 ：　電気工事業・電気通信工事業

管工事業・とび･土工工事業

【事業規模】

設立年月日　1976年10月25日設立

資本金　20,000千円

		2022年度	2023年度	2024年度
売上高	（千円）	1,110,476	987,925	633,129
従業員数	（名）	37	35	36
事業所敷地面積	（㎡）	672.11	672.11	672.11
事業所延べ床面積	（㎡）	497.06	500.41	498.41

従業員数は、2024年9月30日現在

会計年度　10月～9月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

日興電設株式会社　全　社

○ 対象事業所

本社	高知県高知市薊野中町　7番29-3号	（常駐者：33名）
四万十町営業所	高知県高岡郡四万十町大正　512番地1	（常駐者：　2名）
倉庫	高知県高知市薊野中町　7番29-7号	（常駐者：　1名）

○ 事業活動

建設業（電気工事業・電気通信工事業）、太陽光発電設備工事

【レポートの対象期間】

2023年10月～2024年9月

【レポートの発行日】

2024年12月27日

【作成責任者】

環境管理責任者　　谷川雄一

当社の環境活動と持続可能な開発目標（SDGs）との関係性

SDGsNo.	項目	当社の環境活動	具体的内容
1	貧困をなくそう		
2	飢餓をゼロに		
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用、騒音抑制
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう	○	障がい者用エレベーター設置
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	省エネ、節電、再生可能エネルギー
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO_2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	廃棄量削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO_2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道
15	陸の豊かさも守ろう	○	間伐材を利用したコピー用紙(FSC)
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育への支援
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、環境教育への支援

３．環境経営方針

【環境経営理念】

日興電設株式会社は、高知県全域を対象に事業活動を行っている企業として、総合電気設備工事及び電気通信工事による環境への影響を考慮し、環境負荷の低減及び地域の環境保全に向けて、全社で自主的積極的に取り組み、継続的改善による環境経営を行っていきます。

【基本方針】

１．　電気設備工事において、環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。

２．　建設機械・車輌等の燃料使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。

３．　事務所・現場における電力使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。

４．　事務所・現場における廃棄物排出量の削減、再利用及びリサイクルを行います。

５．　事務所における節水活動により水使用量を削減します。

６．　事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。

７．　環境関連法規及び条例等を遵守します。

８．　環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。

９．　環境経営レポート等環境情報について広く外部公表します。

10.　環境美化・環境保護など社会貢献活動を継続します。

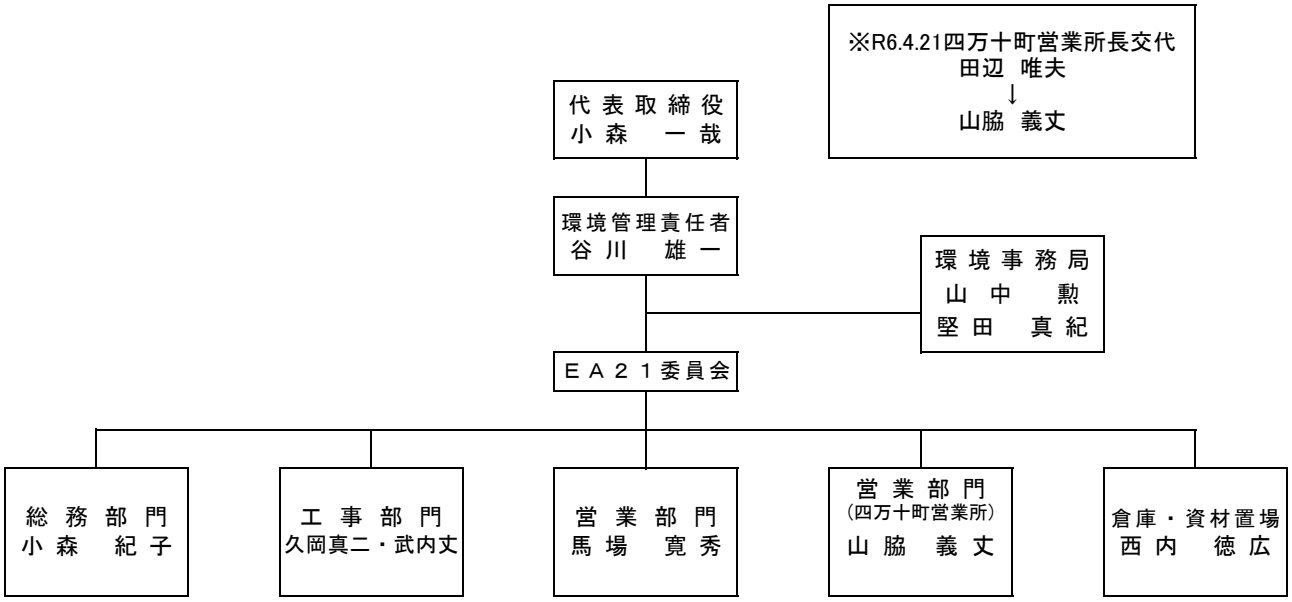
11.　ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に向けて取り組みます。

改訂日：　2021年10月20日

日興電設株式会社

代表取締役　小森　一哉

4. 環境管理組織体制



役割・責任・権限	
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し・指示実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・教育訓練（緊急事態を含む）の実施を指示 ・是正・予防処置の決定・指示
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、ＥＡ２１委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

５．環境経営計画への取組の全体概要

当社は、「建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

＜全体概況＞

〇燃料使用量の削減については、ハイブリッドカー４台を継続使用しています。
軽油の使用量増加により目標を達成できなかった。

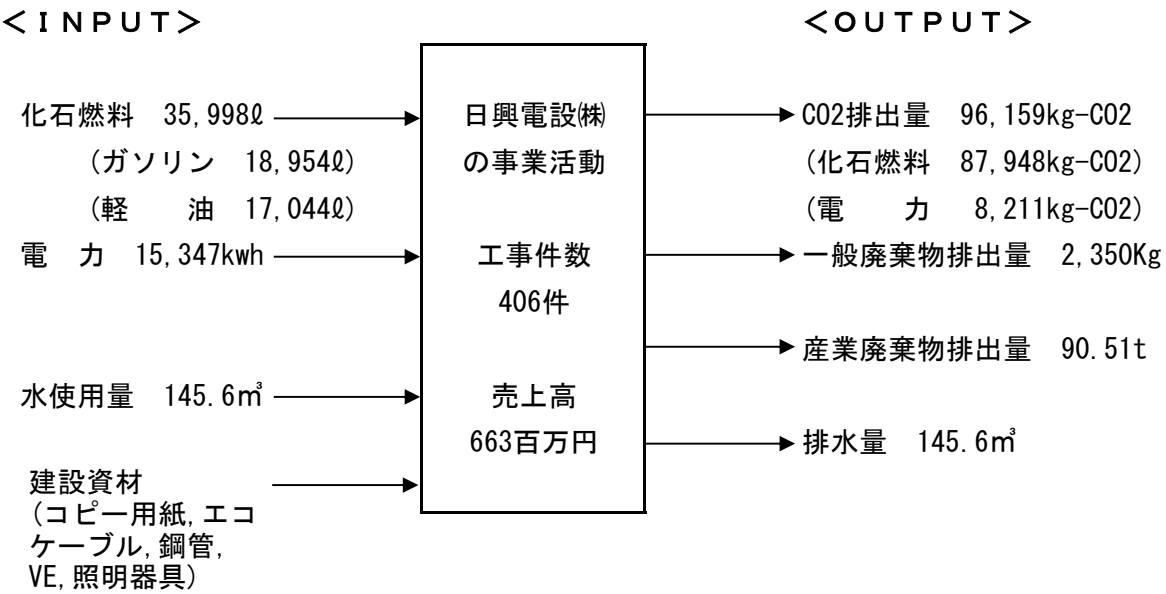
〇電力使用量の削減については、太陽光発電・蓄電設備を設置し購入量を削減しました。
太陽光発電・蓄電設備からの供給により、購入電力量は削減できた。

〇CO_2排出量の削減については、太陽光発電の利用により削減を図りました。
軽油の使用量増加により目標を達成できなかった。

〇廃棄物排出量の削減については、分別・リサイクルを進めています。
廃油量が増加したため、目標を達成できなかったが、リサイクルはできた。

〇社会貢献活動については、ロードボランティア活動、近隣の清掃活動、環境保全活動支援を実施しています。
各社会貢献活動の実施はできた。

＜日興電設株式会社　の物質フロー＞（2023年度）



６．環境経営目標

（2024年度）

（１）単年度目標

項目	総量･原単位	単位	基準値 3年間 2019.10-2022.9	2024年度 目標（▲1%） 2023.10-2024.9
売上高		百万円	1,105	1,100
燃料使用量			30,508	30,203
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,825	21,607
	原単位	(ℓ/百万円)	19.76	19.56
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,682	8,595
	原単位	(ℓ/百万円)	7.85	7.77
電力使用量	総量	(kWh)	16,018	15,858
	原単位	(kWh/百万円)	14.49	14.35
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	81,605	80,789
	原単位	(kg－CO_2/百万円)	73.86	73.12
水使用量	総量	(m^3)	143.4	142.0
	原単位	(m^3/百万円)	0.13	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,729	2,702
	原単位	(kg/百万円)	2.47	2.45
産業廃棄物排出量	総量	(t)	35.87	35.51
	原単位	(t/百万円)	0.03	0.03
産業廃棄物再資源化率	%	(%)	89.4	90.3
グリーン購入	%	(%)	60.3	60.9
環境配慮資材	%	(%)	16.6	16.8
環境配慮工事	%	(%)	65.0	65.7
環境美化・保護活動	総量	(回)	6	6
ロードボランティア	総量	(回)	12	12

・購入電力のCO_2排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO_2／ｋＷｈを使用。
・ｸﾞﾘｰﾝ購入率（%）は事務用品購入金額に占めるｸﾞﾘｰﾝ商品購入金額の割合を示す。基準値は2019.10-2022.9の3年間平均値に基づく。
・環境配慮資材･工事は対象期間中完成した500万円以上の物件を対象とする。
・2024年度の環境経営目標設定にあたっては、基準値に対してガソリン使用量から産業廃棄物排出量は1%削減値、産業廃棄物再資源化率から環境配慮工事は1%増加値を採用する。
・環境配慮資材　：　LED照明等省エネ資材の導入促進、エコケーブルの使用促進
　環境配慮工事　：　再生可能エネルギー・蓄電池導入の促進、低騒音・排出ガス対策型重機の使用

（２）中長期目標（基準値に対して0.5%づつ削減する）

項目	総量･原単位	単位	2019.10-2022.9 3年間(基準年)	2025年度 目標(▲1.5%)	2026年度 目標(▲2%)	2027年度 目標(▲2.5%)
売上高		百万円	1,105	1,100	1,100	1,100
燃料使用量			30,508	30,050	29,898	29,745
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,825	21,498	21,389	21,279
	原単位	(ℓ/百万円)	19.76	19.46	19.36	19.27
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,682	8,552	8,508	8,465
	原単位	(ℓ/百万円)	7.85	7.73	7.69	7.65
電力使用量	総量	(kWh)	16,018	15,778	15,698	15,618
	原単位	(kWh/百万円)	14.49	14.27	14.20	14.13
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	81,605	80,381	79,973	79,565
	原単位	(kg－CO_2/百万円)	73.86	72.75	72.38	72.01
水使用量	総量	(m^3)	143.4	141.2	140.5	139.8
	原単位	(m^3/百万円)	0.13	0.13	0.13	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,729	2,688	2,674	2,661
	原単位	(kg/百万円)	2.47	2.43	2.42	2.41
産業廃棄物排出量	総量	(t)	35.87	35.33	35.15	34.97
	原単位	(t/百万円)	0.03	0.03	0.03	0.03
産業廃棄物再資源化率	%	(%)	89.4	90.7	91.2	91.6
グリーン購入	%	(%)	60.3	61.2	61.5	61.8
環境配慮資材	%	(%)	16.6	16.8	16.9	17.0
環境配慮工事	%	(%)	65.0	66.0	66.3	66.6
環境美化・保護活動	総量	(回)	6	6	6	6
ロードボランティア	総量	(回)	12	12	12	12

7. 環境経営計画

（2024年度）

期間：　2023年10月～2024年9月　　スローガン「青年開幕の年」

項目		活動内容	SDGs	担　当
環境配慮	環境配慮資材	LED照明等省エネ資材の使用		営業部 責任者：谷川　雄一 担　当：本田 七重
		エコケーブルの使用		
	環境配慮工事	再生可能エネルギー、蓄電池導入の促進		営業部 責任者：谷川　雄一 担　当：本田 七重
CO2排出量　削減 燃料の削減		駐停車時のエンジン停止		工事部 責任者：武内　丈 担当：猪野　義房
		低燃費運転		
		車両の良好な状態を保持		
		車両の軽量化		
		車のエアコンの適正使用		
		※燃料費の管理（走行距離、給油量を車両日報に記入する）		総務部 責任者：小森　紀子 担　当：堅田　真紀
CO2排出量　削減 電力の削減		ｴｱｺﾝ設定温度管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）		総務部 責任者：山中　勲 担 当：堅田　真紀
		ｴｱｺﾝの適正使用		
		ｴｱｺﾝﾌｨﾙﾀｰの定期清掃		
		太陽光発電・蓄電設備の設置、電力供給		
		不必要箇所の照明消灯		
		※ウォームビズ・クールビズの徹底		
水使用量 削減		漏水の点検・節水コマの取付		総務部 責任者：：山中　勲 担 当：堅田　真紀
		まとめ洗い		
廃棄物排出量削減	産業廃棄物の削減	現場における発生残材の削減の徹底（資材の適正発注）		工事部 責任者：久岡　真二 担当：荒木　寛
		再生材の使用促進		
	産業廃棄物再資源化率の向上	分別・リサイクルの徹底		
		産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する		
	一般廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用		総務部 責任者：小森　紀子 担 当：堅田　真紀
		社内ネットを活用し、ペーパーレス促進		
ｸﾞﾘｰﾝ購入		事務用品のグリーン購入の促進		総務部 責任者：小森　紀子 担 当：堅田　真紀
		年間購入量を設定し、調達実績を把握し目標達成を促進する		
環境美化 保護活動 ボランティア		地域ボランティア活動に参加する		営業部 責任者：谷川　雄一 担当：佐田　裕弥
		加入団体が実施する清掃活動に参加する		
SDGs		取組を社員に浸透させる		総務部 責任者：小森　紀子 担 当：堅田　真紀

※　新規追加活動

８．環境経営目標の実績

スローガン「青年開幕の年」

（１）本年度実績

項目	総量 原単位	単位	基準年 直近3年間平均 2019.10-2022.9	2024年度 目標 2023.10-2024.9	2024年度 実績 2023.10-2024.9	実績値／目標値 （%）	評価
売上高		百万円	1,105	1,100	663	60%	×
燃料使用量			30,508	30,203	35,998	119%	×
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,825	21,607	18,954	88%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	19.76	19.56	28.59	146%	×
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,682	8,595	17,044	198%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	7.85	7.77	25.71	331%	×
電力使用量	総量	(kWh)	16,018	15,858	15,347	97%	○
	原単位	(kWh/百万円)	14.49	14.35	23.15	161%	×
ＣＯ2 排出量	総量	(kg－CO2)	81,605	80,789	96,159	119%	×
	原単位	(kg－CO2/百万円)	73.86	73.12	145.04	198%	×
水使用量	総量	(m3)	143.4	142.0	145.6	103%	△
	原単位	(m3/百万円)	0.13	0.13	0.22	169%	×
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,729	2,702	2,350	87%	○
	原単位	(kg/百万円)	2.47	2.45	3.54	145%	×
産業廃棄物排出量	総量	(t)	35.87	35.51	90.51	255%	×
	原単位	(t/百万円)	0.03	0.03	0.14	455%	×
産業廃棄物再資源化率	%	(%)	89.4	90.3	100.0	111%	○
グリーン購入量	%	(%)	60.3	60.9	71.8	118%	○
環境配慮資材	%	(%)	16.6	16.8	81.8	487%	○
環境配慮工事	%	(%)	65.0	65.7	13.6	21%	×
環境美化・保護活動	総量	(回)	6	6	6	100%	○
ロードボランティア	総量	(回)	12	12	12	100%	○

・購入電力のCO_2排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO_2／kWhを使用。
・ｸﾞﾘｰﾝ購入率(%)は事務用品購入金額に占めるｸﾞﾘｰﾝ商品購入金額の割合を示す。基準値は2019.10-2022.9の3年間平均値に基づく。
・環境配慮資材・工事は対象期間中完成した500万円以上の物件を対象とする。(ただし太陽光発電設備及びエコキュート設備は500万円未満でも対象とする)

・2024年度の環境経営目標設定にあたっては、基準値に対してガソリン使用量から産業廃棄物排出量は1%削減値、産業廃棄物再資源化率から環境配慮工事は1%増加値を採用する。
・環境配慮資材 ： LED照明等省エネ資材の導入促進、エコケーブルの使用促進
　環境配慮工事 ： 再生可能エネルギー、蓄電池設備導入の促進、低騒音・排出ガス対策型重機の使用
・評価は、「○ 目標を達成した」、「△ 目標達成まであと一歩」、「× 目標達成していない」で評価する。

＜環境経営目標未達成等理由＞

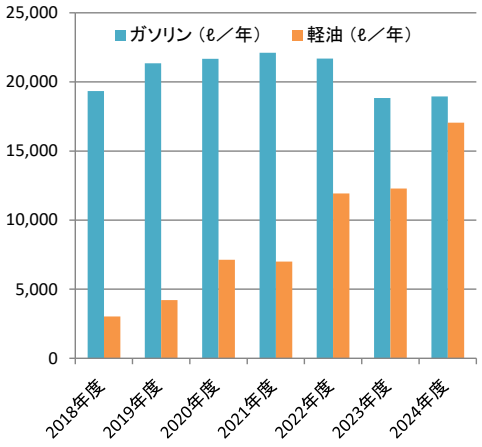
軽油使用量：　軽油車両の追加、遠方で大型車両を使用する機会が増えたため、目標を達成することができなかった。
電力使用量：　太陽光発電・蓄電設備を設置以降、電力会社からの電力購入を削減することはできているが節電を心がける。
CO_2排出量：　弊社の一番の排出要因である軽油の使用量が削減できなかったため、増大してしまった。
水使用量：　使用量が若干上回ったが経年的に見て、使用量を減らせることができているので、これからも節水を心がける。
産業廃棄物排出量：　窪川中学校のトランスオイル処理のため、目標を達成できなかった。
環境配慮工事：　低騒音・排出ガス対策型重機等を使用しない案件が多く、積極的な使用促進が図れず、目標を達成できなかった。

＜過去の実績＞

項目	総量 原単位	単位	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	824	1,167	1,110	1,094	1,110	987
燃料使用量			22,351	25,564	28,796	29,108	33,619	31,114
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,330	21,355	21,664	22,116	21,696	18,828
	原単位	(ℓ/百万円)	23.46	18.30	19.52	20.22	19.55	19.08
軽油使用量	総量	(ℓ)	3,021	4,209	7,132	6,992	11,923	12,286
	原単位	(ℓ/百万円)	3.67	3.61	6.43	6.39	10.74	12.45
電力使用量	総量	(kWh)	18,543	17,125	19,711	14,341	14,003	15,244
	原単位	(kWh/百万円)	22.50	14.67	17.76	13.11	12.61	15.44
ＣＯ$_2$ 排出量	総量	(kg－CO_2)	62,560	69,565	79,206	77,021	88,587	83,535
	原単位	(kg－CO2/百万円)	75.92	59.61	71.36	70.40	79.81	84.64
水使用量	総量	(m^3)	158.9	182.2	159.6	142.4	128.1	138
	原単位	(m3/百万円)	0.19	0.16	0.14	0.13	0.12	0.14
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,843	3,253	3,104	2,620	2,463	2,118
	原単位	(kg/百万円)	4.66	2.79	2.80	2.39	2.22	2.15
産業廃棄物排出量	総量	(t)	78.30	41.60	30.25	54.28	23.09	17.46
	原単位	(t/百万円)	0.10	0.04	0.03	0.05	0.02	0.02
産業廃棄物再資源化率	%	(%)	100.0	63.5	68.2	100.0	100.0	100.0
グリーン購入	%	(%)	56.6	68.7	59.9	61.8	59.2	59.4
環境配慮資材	%	(%)	68.0	42.0	32.6	9.6	7.5	88.5
環境配慮工事	%	(%)	30.0	36.0	59.3	58.3	78.3	57.7
環境美化活動	総量	(回)	1	1	6	8	5	6
ロードボランティア	総量	(回)	11	12	12	12	12	12

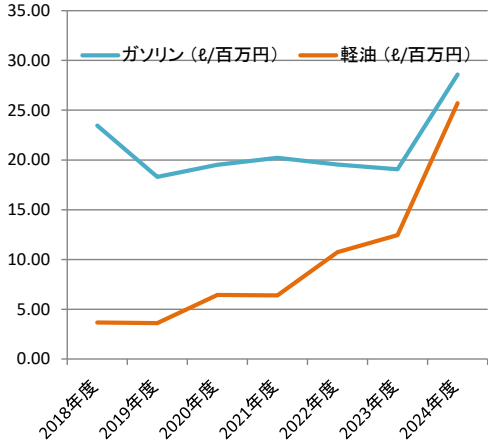
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油）
単位:ℓ／年

年度	ガソリン（ℓ／年）	軽油（ℓ／年）
2018年度	19,330	3,021
2019年度	21,355	4,209
2020年度	21,664	7,132
2021年度	22,116	6,992
2022年度	21,696	11,923
2023年度	18,828	12,286
2024年度	18,954	17,044



燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油）
単位:ℓ／百万円

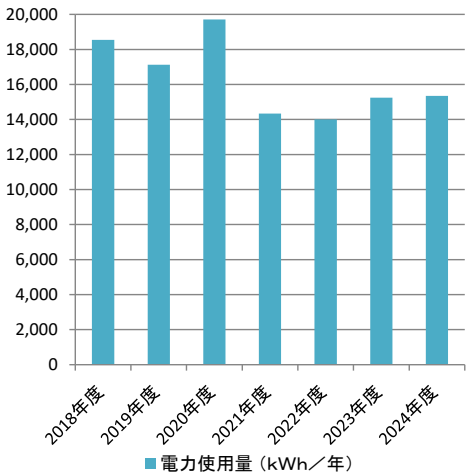
年度	ガソリン（ℓ/百万円）	軽油（ℓ/百万円）
2018年度	23.46	3.67
2019年度	18.30	3.61
2020年度	19.52	6.43
2021年度	20.22	6.39
2022年度	19.55	10.74
2023年度	19.08	12.45
2024年度	28.59	25.71



ガソリン:2018,2024年度を除いて好相関、18,000～21,000ℓの間で推移している
軽油:経年的な増加傾向を示す

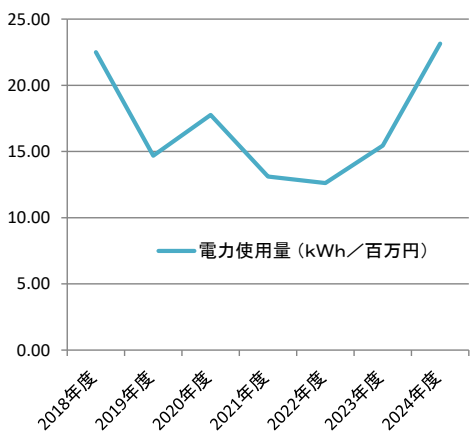
電力使用量（総量:kWh／年）

年度	電力使用量（ｋＷｈ／年）
2018年度	18,543
2019年度	17,125
2020年度	19,711
2021年度	14,341
2022年度	14,003
2023年度	15,244
2024年度	15,347



電力使用量（原単位:kWh／百万円）

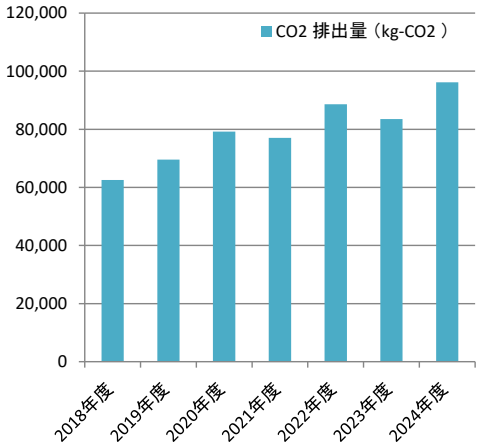
年度	電力使用量（ｋＷｈ／百万円）
2018年度	22.50
2019年度	14.67
2020年度	17.76
2021年度	13.11
2022年度	12.61
2023年度	15.44
2024年度	23.15



2018,2024年度を除いては相関が良い

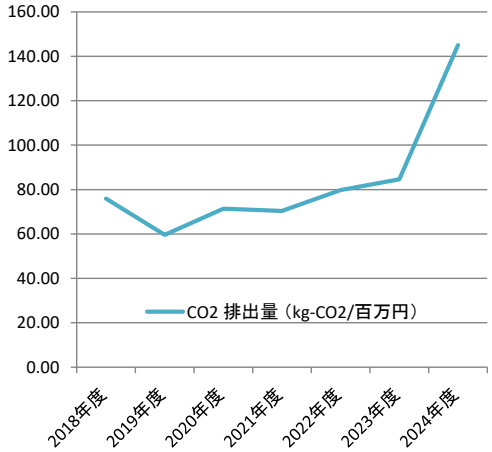
CO_2 排出量（総量：（kg-CO_2）

年度	CO_2 排出量（kg-CO_2）
2018年度	62,560
2019年度	69,565
2020年度	79,206
2021年度	77,021
2022年度	88,587
2023年度	83,535
2024年度	96,159



CO_2 排出量（原単位：kg-CO_2/百万円）

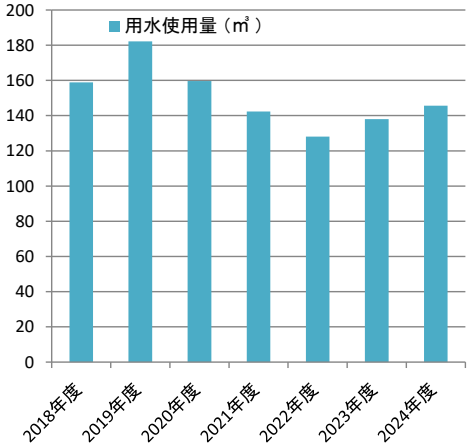
年度	CO_2 排出量（kg-CO_2/百万円）
2018年度	75.92
2019年度	59.61
2020年度	71.36
2021年度	70.40
2022年度	79.81
2023年度	84.64
2024年度	145.04



経年的に増加傾向、2018,2023,2024年度を除いては相関が良い

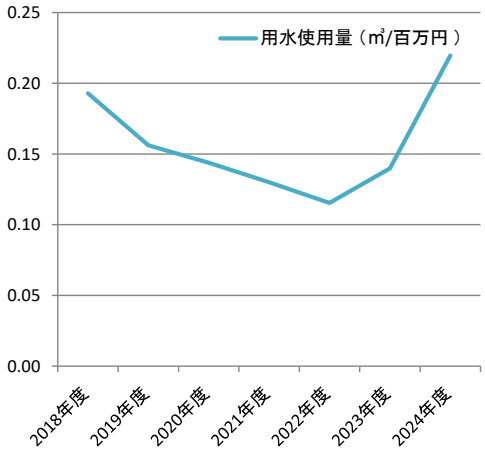
水使用量（総量：㎥）

年度	用水使用量（㎥）
2018年度	158.9
2019年度	182.2
2020年度	159.6
2021年度	142.4
2022年度	128.1
2023年度	138
2024年度	145.6



水使用量（原単位：㎥/百万円）

年度	用水使用量（㎥/百万円）
2018年度	0.19
2019年度	0.16
2020年度	0.14
2021年度	0.13
2022年度	0.12
2023年度	0.14
2024年度	0.22



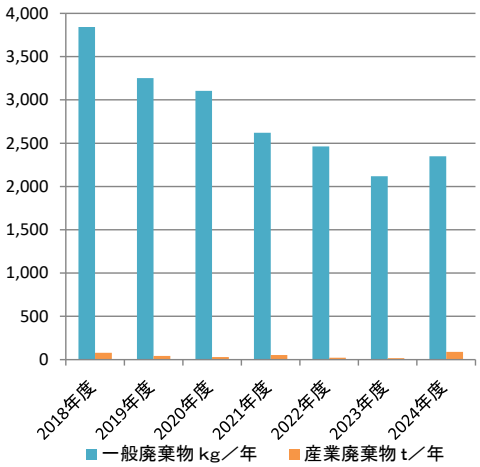
2022年度を境に減少から増加傾向、2018,2024年度を除いては相関が良い

廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

単位:一般廃棄物　kg／年

単位:産業廃棄物　t／年

年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
2018年度	3,843	78.3
2019年度	3,253	41.6
2020年度	3,104	30.3
2021年度	2,620	54.3
2022年度	2,463	23.1
2023年度	2,118	17.5
2024年度	2,350	90.5

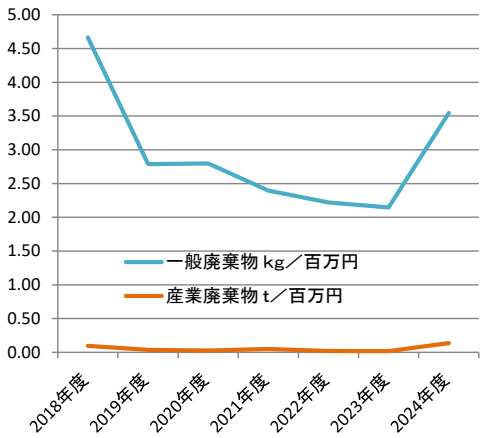


廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

単位:一般廃棄物　kg／百万円

単位:産業廃棄物　t／百万円

年度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
2018年度	4.66	0.10
2019年度	2.79	0.04
2020年度	2.80	0.03
2021年度	2.39	0.05
2022年度	2.22	0.02
2023年度	2.15	0.02
2024年度	3.54	0.14

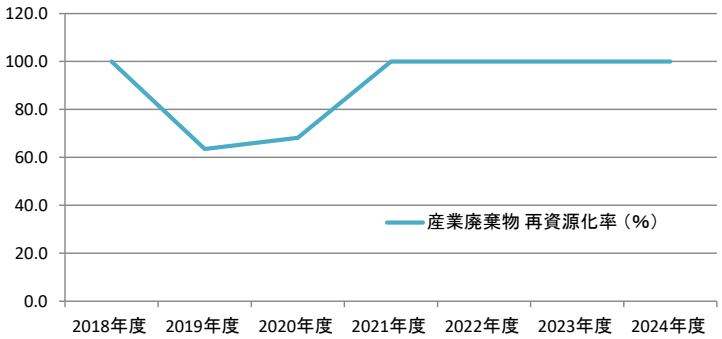


一般廃棄物:2024年度は減少傾向から上昇に転じた

産業廃棄物:減少傾向を呈していたが、2024年度過去最大値を記録した

産業廃棄物再資源化率（%）

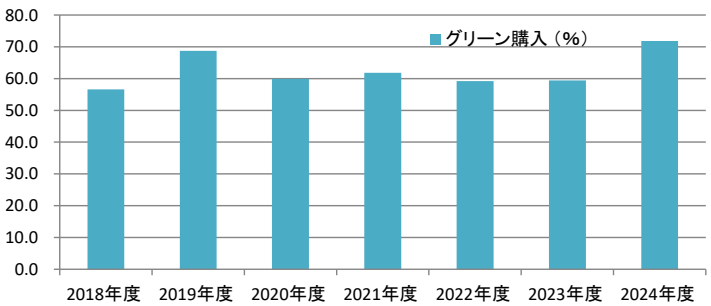
年度	産業廃棄物 再資源化率（%）
2018年度	100.0
2019年度	63.5
2020年度	68.2
2021年度	100.0
2022年度	100.0
2023年度	100.0
2024年度	100.0



2019,2020年度(建設混合廃棄物,がれき等で最資源化できず、最終処分となった為)を除いては100%

グリーン購入（%）

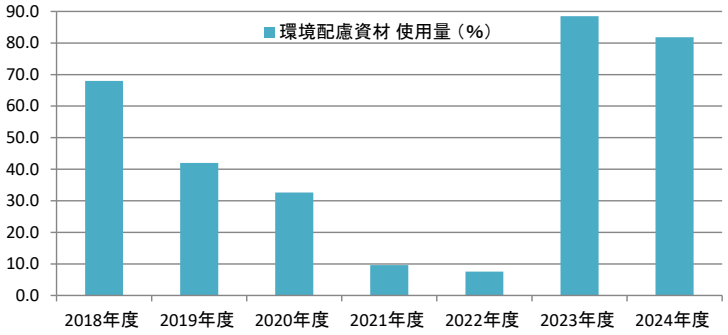
年度	グリーン購入（%）
2018年度	56.6
2019年度	68.7
2020年度	59.9
2021年度	61.8
2022年度	59.2
2023年度	59.4
2024年度	71.8



2024年度は横ばいから上昇に転じた

環境配慮資材使用量（%）

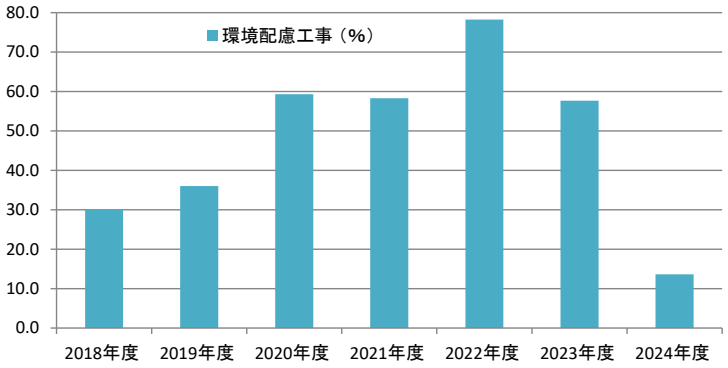
年度	環境配慮資材使用量（%）
2018年度	68.0
2019年度	42.0
2020年度	32.6
2021年度	9.6
2022年度	7.5
2023年度	88.5
2024年度	81.8



工事物件の内容によって環境配慮資材使用工事件数が増減する

環境配慮工事（%）

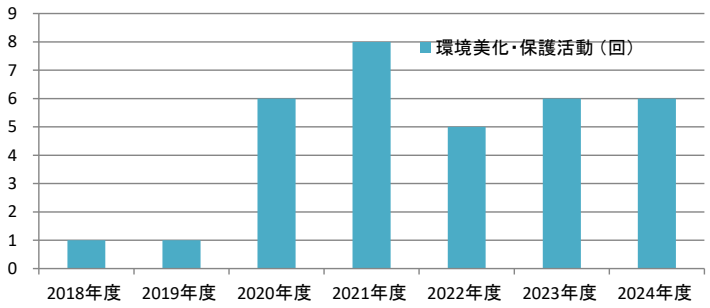
年度	環境配慮工事（%）
2018年度	30.0
2019年度	36.0
2020年度	59.3
2021年度	58.3
2022年度	78.3
2023年度	57.7
2024年度	13.6



工事物件の内容によって環境配慮工事件数が増減する

環境美化・保護活動（回）

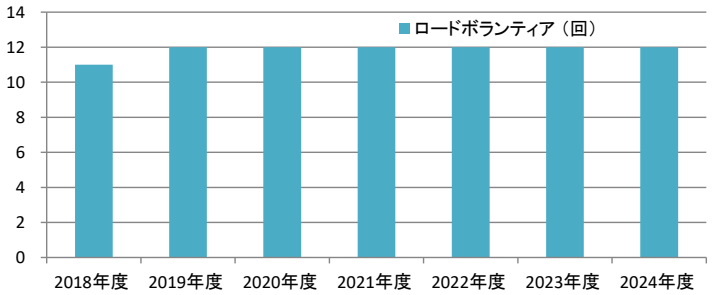
年度	環境美化・保護活動（回）
2018年度	1
2019年度	1
2020年度	6
2021年度	8
2022年度	5
2023年度	6
2024年度	6



2018,2019年度は主に清掃活動の為(悪天候で中止もあり)

ロードボランティア（回）

年度	ロードボランティア（回）
2018年度	11
2019年度	12
2020年度	12
2021年度	12
2022年度	12
2023年度	12
2024年度	12



2018年度を除いて月1回実施されている

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間: 2023年10月 ～ 2024年9月

【評価】 ○ 出来た ・ △ 完全でないが出来た ・ × 出来なかった 担当部署の責任者により評価

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
環境配慮	環境配慮資材	LED照明等省エネ資材の使用	LED照明更新工事等の受注に努めた。	○	継続
		エコケーブルの使用	エコケーブルの使用に努めた。	○	継続
	環境配慮工事	再生可能エネルギー、蓄電池導入の促進	再生可能エネルギーや蓄電池設備の導入促進を行っていく。	○	継続
CO_2排出量 削減		駐停車時のエンジン停止	一定時間以上停めるときはエンジンを停止するよう徹底した。	○	継続
燃料の削減		低燃費運転	無駄な加速、急発進・急停止のない運転を心がけた。	○	継続
		車両の良好な状態を保持	定期点検でチェック、メンテナンスを行った。	○	継続
		車両の軽量化	整理整頓し無駄な積載をしないよう周知した。	○	継続
		車のｴｱｺﾝの適正使用	気候や時間に合わせた使用を心がけた。	○	継続
		燃料費の管理(走行距離、給油量を車両日報に記入する)	車両日報でチェックを行った。	○	継続
CO_2排出量 削減		エアコン設定温度管理の徹底 (冷房28℃、暖房20℃)	操作パネルに設定温度を貼って周知した。	○	継続
電力の削減		エアコンの適正使用	季節や時間によって窓を開放しエアコンの使用を控えるよう努めた。	○	継続
		エアコンフィルターの定期清掃	年2回(6・12月)に清掃を行った。	○	継続
		太陽光発電・蓄電設備の設置、電力供給	購入電力量を削減することができた。	○	継続
		不必要箇所の照明消灯	外出時、昼休憩時消灯を徹底した。	○	継続
		ウォームビズ・クールビズの徹底	ポスターの掲示や会議で周知した。	○	継続
水使用量 削減		漏水の点検・節水コマの取付	漏水点検、節水コマ取付実施。	○	継続
		まとめ洗い	洗濯の回数を減らした。 まとめ洗いを行った。	○	継続
廃棄物排出量削減	産業廃棄物の削減	現場における発生残材の削減の徹底(資材の適正発注)	現場での発生残材の削減や、資材の適正発注を心がけ、目標を達成することができた。	○	継続
		再生材の使用促進		○	継続
	産業廃棄物 再資源化率の向上	分別・リサイクルの徹底	排出量の管理をし、分別の徹底をした。	○	継続
		産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	分別を徹底し、混載処分しないよう努めた。	○	継続
	一般廃棄物の削減	ｺﾋﾟｰ用紙の両面使用	使用済みｺﾋﾟｰ用紙の裏紙使用を心がけ、削減に努めた。 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄや電子メールを活用し、WEB会議を実施した。	○	継続
		社内ネットを活用し、ペーパーレス促進		○	継続
ｸﾞﾘｰﾝ購入		事務用品のグリーン購入の促進	グリーン商品の購入を会社全体で心がけ、目標を達成できた。	○	継続
		年間購入量を設定し、調達実績を把握し目標達成を促進する		○	継続
環境美化・保全活動 および ロードボランティア		地域ボランティア活動に参加する	地域清掃活動の参加や、ロードボランティアなどに取り組んだ。 生態系トラスト協会の活動及びこうち環境博に支援した。	○	継続
		加入団体が実施する清掃活動に参加する		○	継続
SDGs		取組を社員に浸透させる	エコアクションを基本に取組を進めた。 17の目標及び会社重点的な取組の再確認。	○	継続

環境経営目標の達成状況及び
環境経営計画の実施状況、その評価結果記録

作成者: 谷川雄一

手順: 環境管理責任者は、環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況、環境法規の遵守状況、重要度の高い環境負荷の状況及び取組の実施状況について、定期的に確認(監視・測定)のうえ、評価する。

確認項目　確認日と評価

確認項目	確認日と評価			
	2024年1月4日	2024年4月1日	2024年7月6日	2024年10月5日
環境経営目標の達成状況の評価 (各使用量は目標値に対して四半期毎の達成状況)	CO2排出量 25.87% ≧25% 対目標値 ガソリン使用量 93% 軽油使用量 134% 電気使用料量 85% 一般廃棄物排出量 88% 産業廃棄物排出量876% 水使用量 98% 軽油使用量が増加した。1つの改修工事により産廃が大幅に増加した。	CO2排出量 53.41% ≧50% 対目標値 ガソリン使用量 92% 軽油使用量 143% 電気使用料量 101% 一般廃棄物排出量101% 産業廃棄物排出量458% 水使用量 91% 前回に続き軽油使用量が多く電気使用量も増加した。	CO2排出量 80.94% ≧75% 対目標値 ガソリン使用量 88% 軽油使用量 162% 電気使用料量 87% 一般廃棄物排出量 90% 産業廃棄物排出量315% 水使用量 101% 軽油使用量が多く推移し、水使用量も増加し、電気使用量が少し減ってきた。	CO2排出量 119.02% ≧100% 対目標値 ガソリン使用量 88% 軽油使用量 198% 電気使用料量 97% 一般廃棄物排出量 87% 産業廃棄物排出量254% 水使用量 103% 年間を通して軽油使用量が増加し、下半期は水使用量も増加し、目標を達成できなかった。
環境経営計画の実施状況の評価	2024年1月4日	2024年4月1日	2024年7月6日	2024年10月5日
	徳島や宿毛など遠方工事が増加したことに合わせ燃料使用量が増加している。エコ運転、積荷軽減など一人一人削減意識を持って取り組む。 産廃に関しては工事内容によるため分別を徹底する。	電気使用量が多くなっている。一人一人が削減に取り組んでいく。 燃料使用量も引続きエコ運転など継続して少しでも削減を目指す。	継続して燃料使用量が多い為、少しでも削減出来る様、省エネ運用を継続していく。産業廃棄物排出量も多くなっているので、現場でゴミを減らす等徹底していく。	軽油使用量の増加が年間を通して続いた。 徳島や宿毛など遠方の現場が多く移動が多かった為で悲観する事では無いが、一人一人が少しでも削減させていける様に定例会で周知し、意識向上を目指す。
環境関連法規等の遵守状況	2024年1月4日	2024年4月1日	2024年7月6日	2024年10月5日
	違反なし	違反なし	違反なし	違反なし
重要度の高い環境負荷の状況及び取組の実施状況	2024年1月4日	2024年4月1日	2024年7月6日	2024年10月5日
	LED照明等省エネ資材の導入、エコケーブルの使用を促進している。 太陽光発電の効率維持のため定期的な点検、清掃等を行っている。	LED照明等省エネ資材の導入、エコケーブルの使用を促進している。 太陽光発電の効率維持のため定期的な点検、清掃等を行っている。	LED照明等省エネ資材の導入、エコケーブルの使用を促進している。 太陽光発電の効率維持のため定期的な点検、清掃等を行っている。	LED照明等省エネ資材の導入、エコケーブルの使用を促進している。 太陽光発電の効率維持のため定期的な点検、清掃等を行っている。

具体的な取組状況

１．CO_2排出量の削減

（1）燃料使用量削減

エコカー4台継続使用

（2）電力使用量削減

太陽光発電・蓄電設備設置

２．用水使用量の削減

節水型トイレ設置

３．一般廃棄物の削減（古紙回収）

４．グリーン購入

５．環境負荷の少ない工事

エコケーブルの使用促進

太陽光発電設備設置・改修・定期点検

10. 次年度の取組内容

（１）環境経営目標　　（2025年度）

①単年度目標

項目	総量･原単位	単位	基準値 三年間 2019.10-2022.9	2025年度 目標(▲1.5%) 2024.10-2025.9
売上高		百万円	1,105	1,100
燃料使用量			30,508	30,050
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,825	21,498
	原単位	(ℓ/百万円)	19.76	19.46
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,682	8,552
	原単位	(ℓ/百万円)	7.85	7.73
電力使用量	総量	(kWh)	16,018	15,778
	原単位	(kWh/百万円)	14.49	14.27
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	81,605	80,381
	原単位	(kg－CO_2/百万円)	73.86	72.75
水使用量	総量	(m^3)	143.4	141.2
	原単位	(m^3/百万円)	0.13	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,729	2,688
	原単位	(kg/百万円)	2.47	2.43
産業廃棄物排出量	総量	(t)	35.87	35.33
	原単位	(t/百万円)	0.03	0.03
産業廃棄物再資源化率	%	(%)	89.4	90.7
グリーン購入	%	(%)	60.3	61.2
環境配慮資材	%	(%)	16.6	16.8
環境配慮工事	%	(%)	65.0	66.0
環境美化・保護活動	総量	(回)	6	6
ロードボランティア	総量	(回)	12	12

・購入電力のCO_2排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO_2／ｋＷｈを使用。
・ｸﾞﾘｰﾝ購入率（%）は事務用品購入金額に占めるｸﾞﾘｰﾝ商品購入金額の割合を示す。基準値は2019.10-2022.9の3年間平均値に基づく。
・環境配慮資材･工事は対象期間中完成した500万円以上の物件を対象とする。
・2025年度の環境経営目標設定にあたっては、基準値に対してガソリン使用量から産業廃棄物排出量は1.5%削減値、産業廃棄物再資源化率から環境配慮工事は1.5%増加値を採用する。
・環境配慮資材 ： LED照明等省エネ資材の導入促進、エコケーブルの使用促進
・環境配慮工事 ： 再生可能エネルギー、蓄電池設備導入の促進、低騒音・排出ガス対策型重機の使用

②中長期目標

項目	総量･原単位	単位	2019.10-2022.9 3年間（基準年）	2026年度 目標(▲2%)	2027年度 目標(▲2.5%)	2028年度 目標(▲3%)
売上高		百万円	1,105	1,100	1,100	1,100
燃料使用量			30,508	29,898	29,745	29,593
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,825	21,389	21,279	21,170
	原単位	(ℓ/百万円)	19.76	19.36	19.27	19.17
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,682	8,508	8,465	8,422
	原単位	(ℓ/百万円)	7.85	7.69	7.65	7.61
電力使用量	総量	(kWh)	16,018	15,698	15,618	15,537
	原単位	(kWh/百万円)	14.49	14.20	14.13	14.06
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	81,605	79,973	79,565	79,157
	原単位	(kg－CO_2/百万円)	73.86	72.38	72.01	71.64
水使用量	総量	(m^3)	143.4	140.5	139.8	139.1
	原単位	(m^3/百万円)	0.13	0.13	0.13	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,729	2,674	2,661	2,647
	原単位	(kg/百万円)	2.47	2.42	2.41	2.40
産業廃棄物排出量	総量	(t)	35.87	35.15	34.97	34.79
	原単位	(t/百万円)	0.03	0.03	0.03	0.03
産業廃棄物再資源化率	%	(%)	89.4	91.2	91.6	92.1
グリーン購入	%	(%)	60.3	61.5	61.8	62.1
環境配慮資材	%	(%)	16.6	16.9	17.0	17.1
環境配慮工事	%	(%)	65.0	66.3	66.6	67.0
環境美化・保護活動	総量	(回)	6	6	6	6
ロードボランティア	総量	(回)	12	12	12	12

（２）環境経営計画

（2025年度）

期間:2024年10月　～　2025年9月

スローガン「青年開幕の年」

項目		活動内容	担　当
環境配慮	環境配慮資材	LED照明等省エネ資材の使用	営業部 責任者:谷川　雄一 担　当:本田 七重
		エコケーブルの使用	
	環境配慮工事	再生可能エネルギー、蓄電池設備導入の促進	営業部 責任者:谷川　雄一 担　当:本田 七重
CO_2排出量 削減 燃料の削減		駐停車時のエンジン停止	工事部 責任者:武内　丈 担　当:猪野　義房
		低燃費運転	
		車両の良好な状態を保持	
		車両の軽量化	
		車のエアコンの適正使用	
		燃料費の管理（走行距離、給油量を車両日報に記入する）	総務部 責任者:小森　紀子 担　当:堅田　真紀
CO_2排出量 削減 電力の削減		エアコン設定温度管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）	総務部 責任者:山中　勲 担　当:堅田　真紀
		エアコンの適正使用	
		エアコンフィルターの定期清掃	
		太陽光発電・蓄電設備の設置、電力供給	
		不必要箇所の照明消灯	
		ウォームビズ・クールビズの徹底	
水使用量 削減		まとめ洗い	総務部 責任者:山中　勲 担　当:堅田　真紀
		漏水点検	
廃棄物排出量削減	産業廃棄物の削減	現場における発生残材の削減の徹底（資材の適正発注）	工事部 責任者:久岡　真二 担 当:荒木　寛
		再生材の使用促進	
	産業廃棄物再資源化率の向上	分別・リサイクルの徹底	
		産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	
	一般廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	総務部 責任者:小森　紀子 担　当:堅田　真紀
		社内ネットを活用し、ペーパーレス促進	
ｸﾞﾘｰﾝ購入		事務用品のグリーン購入の促進	総務部 責任者:小森　紀子 担　当:堅田　真紀
		年間購入量を設定し、調達実績を把握し目標達成を促進する	
社会貢献活動		地域ボランティア活動に参加する	営業部 責任者:谷川　雄一 担　当:佐田　裕弥
		加入団体が実施する清掃活動に参加する	
SDGs		社員一人一人が意識して取り組む	総務部 責任者:小森　紀子 担　当:堅田　真紀

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名		規制内容	実施内容	担当者	遵守状況	確認日
電気事業法		電気事業の適正かつ合理的な運営 電気使用者の利益保護 電気事業の健全な発達 電気工作物の工事、維持及び運用の規制による公共の安全の確保及び環境保全	事業許可 期限管理	谷 川	遵守	2024/10/5
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第3 条	事業者の責務:事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	産業廃棄物処理	谷 川	遵守	2024/10/5
	第8条	廃棄物保管場所に掲示板を設置	適切な設置	谷 川	遵守	2024/10/5
	第11条	事業者はその廃棄物を自ら処分すること	産業廃棄物処理	谷 川	遵守	2024/10/5
	第12条3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	マニフェスト管理 5年間保管	本 田	遵守	2024/10/5
	第12条 5,6	産業廃棄物の委託契約	委託契約の締結	現場担当者	遵守	2024/10/5
	第12条 の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び高知市長への提出	1年間集計の提出	本 田	遵守	2023/6/12受付
資源有効利用促進法(リサイクル法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト、木材等の減量化及びリサイクル	適切な処理	谷 川	遵守	2024/10/5
建設ﾘｻｲｸﾙ法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者の責務(建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の低減、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用)	適切な処理	現場担当者	遵守	2024/10/5
騒音規制法	第14条	特定建設業の実施の届出 建設作業開始7日前までに市町村長に提出	適切な届出	現場担当者	遵守	2024/10/5
消防法	第17条 3の2	消防用設備等設置届書の消防署への提出	適切な届出	現場担当者	遵守	2024/10/5
道路交通法 (使用道路の使用許可)	第77条	道路使用許可の申請	その都度	現場担当者	遵守	2024/10/5
フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)		簡易点検:全ての業務用空調機器 定期点検: ①7.5KW以上50KW未満の空調機器 ②50KW以上の空調機器 点検・整備の記録	簡易点検: 3か月に1回以上 定期点検 ①3年に1回以上 ②1年に1回以上 (専門業者が実施)	谷 川	遵守	2024/10/5
高知県環境基本条例	第6条1	事業者の責務(事業活動に伴って生ずる公害を防止し自然環境を適正に保護する)	適切な対応	谷 川	遵守	2024/10/5
	第6条2	事業者の責務(事業活動に伴って生じた廃棄物の適正な処理)	適切な処理	谷 川	遵守	2024/10/5
高知市環境基本条例	第5条	廃棄物の適正処理 自然環境保全 環境への負荷の低減 環境保全活動への協力	適切な対応	谷 川	遵守	2024/10/5
四万十町環境基本条例	第5条	廃棄物の適正処理 自然環境保全 環境への負荷の低減 環境保全活動への協力	適切な対応	谷 川	遵守	2024/10/5

環境法令規制については市町村等の条例との整合性を確認し、施工、設計に取り組みました。

(2)環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年10月1日より2024年9月30日までの間、環境関連法規等の違反、訴訟はありませんでした。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

承認日: 2024年11月2日

代表者: 小森 一哉

見直しに必要な情報

環境管理責任者の報告及び改善提案

【取組状況の評価結果】

①環境関連法規制等の遵守状況

環境関連法規への違反、訴訟はありません。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況

・節水コマの取付→計画実施。
・SDGsの取組を社員に浸透させる→総務部が定例会で周知し、浸透を図った。
・軽油の見直しが必要。

③前回までの代表者の指示事項への対応

全員で年間を通じて環境活動を行いました。

④電気、化石燃料について月間実績値が年間平均値を3割超えた理由

・軽油　遠方や夜間作業の増加。

＜改善提案＞

作業エリアの広がりで燃料増加はやむ得ない為、エコドライブなど
一人一人がエコの意識を高め目標に向け努力する。

【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】

目標項目	目標値達成状況	経営計画達成状況	コメント（目標値、活動計画に対するコメント）
燃料の削減	×	○	遠方の工事や大型車の使用が増え目標未達成。
電力の削減	○	○	太陽光発電・蓄電設備からの供給により、購入電力量は削減できた。
水使用量削減	△	○	削減できなかったが、節水コマ取付でき、取組はできている。
CO_2排出量削減	×	○	弊社の一番の排出要因である軽油の使用量が削減できなかったため、増大してしまった。取組はできている。
一般廃棄物排出量削減	○	○	一般廃棄物は目標を達成することができた。
産業廃棄物排出量削減	×	×	産業廃棄物は廃油量が増えたため目標値を大きく上回った。
グリーン購入	○	○	グリーン購入を心がけ、目標を達成することができた。
社会貢献活動	○	○	積極的に社会貢献活動に取り組めた。
環境負荷の少ない工事	△	○	環境配慮資材では達成できたが、環境配慮工事は未達成。

＜改善提案＞

不十分な取組については定例会等で周知徹底する。

【周囲の変化の状況】

①外部コミュニケーション記録より

苦情はありませんでした。

②環境関連法規制等の動向他

法改正等変更はありません。

＜改善提案＞

代表者が自ら得た情報

代表者による見直し・指示

変更の必要性の有無・指示事項

【環境経営方針】

変更の必要性： □有　■無

こうちSDGs推進企業に登録されているので、一層社員への周知を進める。

【環境経営目標・環境経営計画】

変更の必要性： ■有　□無

・2030年を目標に車両をガソリン車、ディーゼル車を廃止しハイブリッド車や電気自動車に変更する計画をしている。

・倉庫の屋根への太陽光発電設備の設置を計画を進める為、設置の為の調査を行う。

・軽油の経年的増加が見られており、目標値を見直し検討が必要あり。

【実施体制】　変更の必要性： □有　■無

環境管理組織体制は有効に機能しており変更の必要はない。

・R6.4.21四万十町営業所の移転
・R6.4.21四万十町営業所長の交代(田辺唯夫→山脇義丈)

【総括】

・軽油使用量の増加が目に付く。
県外・遠方の現場が多かった為ではあるが、一人一人の意識の向上を図りたい。

・LED照明等省エネ資材や環境負荷の少ないエコケーブルの使用を促進する。

・太陽光発電等再生可能エネルギー及び畜電池設備の導入を促進する。

・今後ハイブリッド車や電気自動車への変更を促進する。

13. その他の取組

■ 環境美化活動

2023年10月17日　「秋のおもてなし一斉清掃」　主催: 高知県観光政策課

2024年1月24日　「2024年南国土佐観光びらき」清掃　主催: 高知市、(公社)高知市観光協会

2024年6月7日　「環境美化重点地域早朝一斉清掃」　主催: 高知市、高知市民憲章推進協議会

2024年7月20日　「公共建築物電気設備の安全点検と照明器具の清掃活動」　主催: 高知中央電気工事業協同組合

地域ボランティア活動参加報告書

活動の名称		公共建築物電気設備の安全点検と照明器具の清掃活動 (高知市みどり課、[illegible])
主催		高知中央電気工事業協同組合
実施月日		令和6年7月20日(土)
実施時間		午前9時00分～午前11時00分
参加者	参加企業	日興電設 株式会社
	参加者名	[illegible]
活動内容		午前9時00分　高知市大原町87-5 高知中央電気工事業協同組合に集合 9時10分　開始式 9時30分　安全点検、清掃活動開始 ・追手筋のLED灯20基 ・[illegible]公園、[illegible]公園 11時00分　安全点検、清掃活動終了
写真		
証明		上記のとおりボランティア活動に参加したことを証明する。 令和6年7月20日 高知中央電気工事業協同組合 理事長 [illegible]

日興電設株式会社　様

ご協賛ありがとうございました

この度は「こうち環境博2024」の開催にご協賛をいただき、まことにありがとうございました。おかげさまで多数のご来場者様を迎え、自然や環境についての楽しい学びの機会を提供することができました。ここに感謝申し上げます。

令和6年9月　こうち環境博実行委員会事務局
特定非営利活動法人　環境の杜こうち

■ 環境保全活動

2024年6月29日～8月31日　特定非営利活動法人 環境の杜こうち イベントへの協賛

「こうち環境博2024」
自然環境の保全や温暖化防止活動を行う企業・団体・個人の取組を紹介するイベントへの協賛

2023年11月1日～10月31日　「ウォームビズ四国」「クールビズ四国」キャンペーンに参加　主催: 高知県

地球温暖化対策の一環として、空調機器等利用時の室温の適正化とその温度に適した服装を励行するキャンペーンに参加。

■ ロードボランティア

毎月20日　「交通安全運動」に参加

通勤通学時間帯に本社近くの交通量の多い交差点で交通安全運動に参加。

■ 社屋に太陽光発電設備・蓄電設備設置

2020年12月 より太陽光発電設備及び蓄電設備設置。

本社の購入電力量(電灯B)の変化

年度・月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	CO2排出量
2021年度	1275	1158	1369	1459	950	802	641	440	419	471	530	555	5386.92
2022年度	755	621	734	839	764	694	664	672	583	689	700	763	4535.73
2023年度	770	701	954	1182	934	796	695	605	617	734	778	695	5061.64
2024年度	680	780	967	1062	911	885	657	643	542	774	841	714	5058.96
増減(kWh)	-90	79	13	-120	-23	89	-38	38	-75	40	63	19	-2.675

※ 2021年度10～1月は機器設定不備により蓄電設備からの利用ができていないため、電気使用量が多い

※ CO2排出量は排出係数0.535kg-CO2/kWhで算出

■ こうちＳＤＧｓ推進企業に登録

2022年2月 こうちＳＤＧｓ推進企業に登録

SDGs達成に向けた宣言書

SDGs達成に向けた経営方針等

当社は電気設備の施工業者として、省エネルギー、二酸化炭素と廃棄物排出量の削減及び資源の有効活用などに積極的に取り組んでおり、SDGsの達成と目標を同じくしています。
社員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

3側面主な分野に○	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況<登録年月日> 令和6年12月26日	チェックリストの関連する番号
環境 社会 経済	環境経営を継続的に改善する（エコアクション21）(2022)	・ガソリン使用量の削減(2020:21kℓ⇒2030:18kℓ) ・CO_2排出量の削減(2020:79t-CO_2⇒2030:65t-CO_2)	・ガソリン使用量(2024:19kℓ) ・CO_2排出量排出量(2024:96t- CO_2)	14 15
環境 社会 経済	地域貢献及び社会貢献活動(災害協定、BCP, 募金、ボランティア他)への取組み(2022)	社員に防災士を増やす(2022:1名⇒2030:10名以上)	・社員に防災士試験を受験することを啓発している(2024年度迄の資格取得者:1名)	49 50
環境 社会 経済	カーボンニュートラルへの取組み(2022)	2030年までに会社全体の使用電気を再生可能エネルギーに移行(2022:本社→2030:本社及び営業所)	・自社所有の本社倉庫を具体的に検討を継続中	19

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

こうちＳＤＧｓ推進企業
登録証

KOCHI SDGs

こうちSDGs推進企業として登録し、ここに証します。

登録事業者: 日興電設株式会社

登録番号: 146

登録期間: 令和4年2月22日 (2022) から 令和7年2月21日 (2025) まで

令和4(2022)年2月22日

高知県知事 濵田省司